

2018年（平成30年）6月14日

輸送動向について（平成30年5月分）

1. 輸送概況

今月は、中旬に発生した秋田地区大雨の影響等により、高速貨14本が運休となった（前年は、高速貨2本が運休）。

コンテナは、積合せ貨物が関西地区発関東・九州地区向けといった中長距離帯での鉄道シフトが進展したほか、自動車部品が東海地区発をはじめ全国的に好調な荷動きとなった。また食料工業品は、中旬以降の気温上昇に伴って西日本地区での清涼飲料水の出荷が旺盛となったことに加え、農産品・青果物は北海道産・九州産とも連休明けから玉葱、馬鈴薯、生野菜の発送が増加したことから、前年を上回った。

一方、紙・パルプは国内需要減少に伴う販売不振や生産体制再編により、東北・新潟発で大幅な減送となった。その結果、コンテナ全体では前年比103.0%となった。

車扱は、石油が5月中旬頃まで原油価格が上昇し続けたことに伴って、駆け込み需要が発生し送り込みが増加した。車扱全体では前年比102.3%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比102.8%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,711	1,661	103.0%	3,654	3,612	101.2%
車 扱	597	583	102.3%	1,255	1,246	100.7%
合 計	2,308	2,245	102.8%	4,909	4,858	101.1%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	110	101	9	108.7%
	化学工業品	165	162	3	102.0%
	化学薬品	116	110	6	105.0%
	食料工業品	298	288	10	103.4%
	紙・パルプ	230	245	-15	94.0%
	他工業品	126	121	5	103.8%
	積合せ貨物	230	219	11	105.1%
	自動車部品	73	63	10	116.6%
	家電・情報機器	35	33	2	105.9%
	エコ関連物資	39	38	1	100.6%
	その他	289	280	9	103.1%
コンテナ計	1,711	1,661	50	103.0%	
車 扱	石油	426	414	12	102.9%
	セメント・石灰石	64	62	2	102.9%
	車 両	61	61	0	99.5%
	その他	46	46	0	99.5%
	車 扱 計	597	583	14	102.3%
合 計		2,308	2,245	63	102.8%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）